

平成28年 9月 21日

新潟工科専門学校
校長 仁多見 透 殿

学校関係者評価委員会
委員長 小倉 睦巳

学校関係者評価委員会報告

平成27年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 小倉 睦巳 (株式会社 国際総合計画 建設事業部部長)
- ② 高野 康夫 (菱機工業 株式会社 課長代理)
- ③ 近藤 一彦 (株式会社 イートラスト 代表取締役会長)
- ④ 油井 康二 (株式会社 めだかの学校 代表取締役社長)
- ⑤ 平田 俊之 (金井度量衡 株式会社 営業推進副本部長)
- ⑥ 竹田 隆行 (学校法人大彦学園 開志学園高等学校 副校長)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回委員会 平成28年 8月 5日 (会場 新潟工科専門学校 会議室)
第2回委員会 平成28年 9月 21日 (会場 新潟工科専門学校 会議室)

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標①について

指導方針、カリキュラムに従って短期間に豊富な知識と各種技能を修得するため、ハードな学習になるが確実に理解することに努める。
⇒指導体制や授業計画及び昨年度教育実績から適切に実施されてきていると判断する。

2 重点目標②について

学習の基礎は徹底的な反復にあり、授業中に完全に理解するよう努めることは勿論、予習、復習も絶やさないと努める。
⇒学習姿勢には依然個人差があるように感じる。ほとんどの学生が学習習慣を身に付けられるよう引き続き努力してほしい。

3 重点目標③について

立派なスペシャリストを目指すという目標を常に念頭において学習することに努める。
⇒卒業後の自分を意識した就職活動を実施してほしい。教育課程編成委員会で提案されている人材像を学生に意識してほしい。

4 重点目標④について

パソコン等を積極的に活用し、学習することに努める。
⇒28年度もiPadを活用しているが更に教育効果の高い活用法を検討してほしい。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

1-1-1 理念・目的・人材像は、定められているか。

⇒理念・教育目標の浸透度は不明であるが、明確に定められており問題は無い。

評価：3とする。

1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか。

⇒育成人材像については企業及び団体等が参画する教育課程編成委員会で協議し求められる人材像・技術・知識・資格等が明確となっており社会のニーズに適合している。

評価：3とする。

1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。

⇒学校長が将来構想を明確にしていると判断する。但し、引き続き保護者・学生・業界等への周知徹底を図る必要がある。

評価：3とする。

2 学校運営

2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

2-6-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

3 教育活動

3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。

⇒教育課程編成委員会のもとカリキュラムの改善を実施しており、科目ごとに授業計画書と実績書を作成し次年度の授業改善に役立てているなどほぼ適切となっている。しかし、教員によってシラバスの内容に温度差があるなど改善する余地も依然として残っている。研修で内容の平準化をお願いしたがまだ十分とは言えない。引き続き研修等を行ってほしい

評価：3とする。

3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。

⇒教育課程の外部意見（卒業生など）を全ての学科で聴収できているとは言えない状況である。校友会と連携し広く意見を聞き入れることを継続してほしい。

評価：3とする。

3-9-3 キャリア教育を実施しているか。

⇒キャリア教育は実施している。

評価：3とする。

3-9-4 授業評価を実施しているか。

⇒組織的に計画し実施されていると思う。

評価：4とする。

<p>3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化しているか。 ⇒適切と判断する。 評価：4とする。</p> <p>3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。 ⇒適切と判断する。 評価：4とする。</p> <p>3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置づけられているか。 ⇒適切と判断する。 評価：4とする。</p> <p>3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。 ⇒卒業後の指導については休日（オープンキャンパスなど教職員が出勤している日）を活用し指導やフォローを開始している。 評価：3とする。</p> <p>3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。 ⇒適切と判断する。 評価：4とする。</p> <p>3-12-2 教員の資質向上への取組を行っているか。 ⇒年間2回以上の研修（専門分野と教育力向上に関する内容）を義務化し、実施している。 評価：3とする。</p> <p>3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。 ⇒非常に学科が細分化されており社会のニーズに合わせた学科編成となっている一方で少数学科が目立つ。合同授業や学科統合などで学科運営の合理化を図ってはどうかについては一部の学科で計画している。 評価：3とする。</p>
--

4 学修成果

<p>4-13-1 就職率の向上が図られているか。 ⇒学校全体として組織的に就職支援を実施しているように思う。 在校生や入学を希望する高校生の保護者に対し学校への求人数の公表を行うことが重要であるため保護者会で説明している。 評価：3とする。</p>

4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。

⇒卒業生の動向が把握できていない。就職した企業へアンケートを依頼しては如何か。

評価：2とする。

5 学生支援

5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。

⇒適切と判断するが、企業と連携した活動が求められる。

評価：3とする。

5-17-1 退学率の低減が図られているか。

⇒組織的に対策が練られているようだが、精神的な障壁は難しい。教員の学生への気持ち期待したい。精神的な課題についての研修に参加しては如何か。

評価：3とする。

5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。

⇒リアルタイムな対応が難しい状況である。教員のきめ細かい対応が重要となる。

評価：厳しいようだが2とする。

5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか。

⇒次年度は留学生がいないので問題化していないが人数が増加した場合、安心してはいられない。教員の知識習得も重要であるが、留学生が相談しやすい雰囲気や環境を整備することが求められる。

評価：2とする。

5-19-1 学生の経済的支援体制を整備しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか。

⇒学校から距離はあるが設置されているし、近隣にアパートが多いので環境的には十分と思われる。近隣への配慮として生活面での指導は徹底して頂きたい。

評価：4とする。

<p>5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか。 ⇒現在クラブは無いようだが、にいがた総踊りや明和義人祭などの参加に支援を行っている。 評価：2とする。</p> <p>5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか。 ⇒体制は整っているが参加率については依然として課題が残る。 評価：3とする。</p> <p>5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか。 ⇒校友会を組織し年一回総会を開催しているが参加率に課題があるようだ。その対策として総会以外にオープンキャンパス日にOB・在校生・高校生が交流できるイベントを開催した。それを切掛けとして卒業生から情報収集し支援の可能性を検討している。次年度も継続してほしい。 評価：3とする。</p> <p>5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか。 ⇒実施されていない。上記で提案した異業種交流会を発展させ教育プログラム開発に繋がられないか。 評価：1とする。</p> <p>5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか。 ⇒今年度も社会人としての講座が無い。厚労省などの訓練の受託などを検討。 評価：1とする。</p>

6 教育環境

<p>6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか。 ⇒概ね適切と判断する。 評価：3とする。</p> <p>6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。 ⇒概ね適切と判断する。 評価：3とする。</p> <p>6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか。 ⇒マニュアルを完成し、28年度の運用としているが教職員・学生に徹底されているかどうか問題。 評価：2とする。</p> <p>6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか。 ⇒安全管理体制を整備し、28年度の運用に期待。 評価：3とする。</p>
--

7 学生の募集と受入れ

7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

7-27-1 経費内容に対し、学納金を算定している。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

8 財務

8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか。

⇒依然として18歳人口の減少と高校新卒者の就職状況などの外部要因の変動による影響が懸念されるが適切と判断する。

評価：4とする。

8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか。
⇒適切と判断する。
評価：4とする。

8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか。
⇒適切と判断する。
評価：4とする。

8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか。
⇒適切と判断する。
評価：4とする。

9 法令等の遵守

9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。
⇒教員だけでなく学生への指導を徹底するべきである。
評価：3とする。

9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか。
⇒適切と判断する。
評価：4とする。

9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。
⇒概ね適切と判断する。
評価：3とする。

9-34-2 自己評価結果を公表しているか。
⇒適切と判断する。
評価：4とする。

9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。
⇒概ね適切と判断する。
評価：3とする。

9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか。
⇒適切と判断する。
評価：4とする。

9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

10 社会貢献・地域貢献

10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

10-36-2 国際交流に取り組んでいるか。

⇒留学生受入れについて不十分である。就労ビザについてはハードルが高いようであるが、あらゆる方面からの情報収集で対応願いたい。まずは留学生確保が先決。

評価：2とする。

10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。

⇒概ね適切と判断する。

評価：3とする。